



12月定例会

新年のごあいさつ	2頁
2011年議会の動き	3頁
決まったこと	4~5頁
一般質問	6~7頁
委員会審議	8~13頁
議会インタビュー	14~15頁
議会のうごき	16頁

2011年議会のうごき

2010年(平成22年)11月14日、定数をそれまでの18人から2人減員し、新しく16人のつるぎ町議会議員が誕生しました。12月6日の初議会では、議長に小坂重夫議員、副議長に伊庭英俊議員を選出、また、議会構成も決定し、新体制でスタートしました。新体制での2011年(平成23年)の議会活動(12月定例会については16頁を参照してください)をまとめました。

第1回臨時会(2月9日開催)

主な議決事項

- 国の「きめ細かな交付金」及び「光をそそぐ交付金」等を受け2億1,097万1千円の補正を可決しました。この交付金を活用して、23年度に林道や町道の改良・舗装の施工、幼・小・中学校の修繕、防火水槽・消火栓の設置等、様々な事業が行われました。

第1回定例会(3月7日～3月16日開催)

主な議決事項

- 平成23年度の当初予算を可決しました。平成23年度は、一般会計が69億6,400万円の予算、特別会計が64億8,555万円の予算でスタートしました。

3月11日東日本大地震発生、町は義援金・救援物資支援。また半田病院医師等が被災地で医療活動。

第2回臨時会(4月8日開催)

主な議決事項

- 人事案件が提案され、副町長に大垣浩志氏を選任することに全会一致で同意可決しました。また、教育委員会委員に議会が全会一致で任命同意した横野健史氏が、委員会の互選で教育長に選任されました。

町職員を被災地へ派遣開始・半田手延べそうめん協同組合と町が合同で炊き出し活動を実施。

第2回定例会(6月15日～6月23日開催)

主な議決事項

- 補正予算4億9,944万9千円(旧うらら荘跡地取得ほか)を可決しました。また、東日本大震災復興支援経費300万円追加の専決処分を承認、半田病院南病棟増改築工事に伴う追加補正を可決しました。

7月5日、つるぎ町農業委員会委員決まる。議会からも3名の委員を推薦。

第3回定例会(9月9日～9月21日開催)

主な議決事項

- 平成22年度決算を認定しました。一般会計は国の経済対策による事業が多く行われたため、歳出が前年度対比22億3,686万円増の103億7,435万円となりました。また、健全化判断比率・資金不足比率は、各会計とも赤字・資金不足なく、早期健全化基準値以下でした。

12月定例会

12月定例会は、7日から16日までの10日間の会期で開催し、専決承認2件、条例の改正2件、平成23年度各種会計補正予算5件、請負契約の変更1件、合計10案件を各常任委員会へ付託し、十分な審議

を経て、全案件を全会一致で承認・可決しました。また、16日の再開日には請負契約1件が追加提案され、当該案件についても、全会一致で可決しました。



決まったこと

全員協議会

12月16日、全員協議会を開催し、追加提案他2件について町長をはじめ担当課長に説明のため出席を求め、議員全員で協議しました。



決まったこと

請負契約の変更

町立半田小学校
体育館耐震改修工事請負契約の変更
工事内容の変更により、契約金額に226万8千円を追加するものです。
工事内容は、外壁ひび割れ補修、南側通路コンクリート舗装・控室の壁、天井の改築等です。

条例の一部改正

①職員の給与に関する条例の一部改正(11月30日専決)
人事院勧告に伴い、50歳代を中心に給料表の金額引下等を行うものです。
②運動公園条例の一部改正
半田中部運動公園(つるぎ町半田字日開野)の屋内ゲートボール場の地番を地籍調査に基づいた地番に変更し、屋外ゲートボール場を廃止するものです。
③病院事業管理者の給与に関する条例の一部改正
産科医確保支援事業に基づき分娩手当等を病院事業管理者に支給するものです。

平成23年度補正予算

- ①一般会計補正予算・第5号(9月22日専決)**
1億1545万4千円追加
台風で被災した町道及び農林道の災害復旧費です。
- ②一般会計補正予算・第6号**
2億9085万7千円追加
中山間地域等支払交付金・林道の災害復旧工事費・半田幼稚園下の河川護岸の復旧工事費などです。
- ③特定環境保全公共下水道事業補正予算(9月22日専決)**
200万円追加
台風12号によって被災した下水道施設の保全工事費です。
- ④国民健康保険(事業勘定)事業補正予算**
1296万1千円追加
事業費の確定により介護納付金等を補正するものです。
- ⑤国民健康保険(施設勘定)事業補正予算**
20万8千円追加
人件費の補正です。
- ⑥農業集落排水事業特別会計補正予算**
70万円追加
家屋の新設に伴う下水管の埋設工事費です。
- ⑦病院事業会計補正予算**
1370万円追加については、医療器具の購入等です。

追加提案

平成23年度林道災害復旧事業林道白井線1号箇所災害復旧工事の請負契約について

契約の方法 指名競争入札
契約金額 6426万円
契約の相手方 (有)北本建設
代表取締役 北本久志

全員協議会で審議

委員会へ付託

委員会へ付託

委員会へ付託

文教厚生常任委員会
産業建設常任委員会
総務常任委員会
で審議
(審議内容はP8～P13を参照下さい)

町政のことが聞きたい

12月7日に2人の議員が登壇し、町政全般について一般質問を行い、町の考えを問いました。質問と答弁を要約してお知らせします。

に支援していく。

再問 尾関伸也議員

企業誘致も限界があると思うので、企業誘致推進と並行して、有能な人材を育成できる環境づくりにも力を注いでいただきたい。

答弁 兼西町長

経済情勢等を注視しつつ、町内の地場産業の育成も含め幅広く検討していく。

問 小山北工業団地の現況及び経済効果は

答 現在7社の企業が操業しており、町内雇用・税收確保に貢献している



質問

おせきしんや
尾関伸也議員

世界の人口が年々増加し、2085年には100億人を突破するであろうと予測される一方で、日本の人口は年々減少し、地方は少子高齢化が急速に進行して地域経済の停滞等が懸念されている。

わが町も少子高齢化に歯止めが利かず、こうした状況を少しでも打開していくために、若者が就労できる場の確保を優先課題の一つとして、取組に力を注いでいただきたいと考えている。

これを踏まえ、小山北工業団地について、現在の誘致企業数及び従業員数、また、本町にどのような



答弁

兼西町長

経済効果をもたらしているのか、兼西町長にお伺いする。

本町小山北工業団地は、昭和62年度に農村地域工業等導入促進法に基づき計画された団地であり、平成2年度に誘致した貞光食糧工業(有)を皮切りに、現在製造業を中心に7社の企業が創業している。

平成23年3月時点での総従業員数は729名で、うち約2割の134名が町内からの雇用となっている。

団地内の4社の平成22年度の製造出荷額は約249億円となっており、つるぎ町全体の約9割を占めている。

他にも固定資産税等の税收では、町税収入の14%にあたる約1億円の税收が得られている。

近年の経済的な不況の中において、各社とも経営状況はおおむね順調に推移しており、過疎化の進む本町にとつては、大きな雇用の場として、また貴重な財源である税の源泉として重要な役割を果たしている。

現在、公募している約8千平方メートル(2400坪)の区画について、より大きな雇用の期待できる企業を誘致すべく、情報を収集するとともに、分譲地の立地条件・優遇制度の情報発信に努めているところである。

また、町緑地条例により発生した約2万6千平方メートルの事業用地についても有効活用を図るため、既存企業各社の新たな事業展開を積極的



▶小山北工業団地

問 災害対策本部機能を分庁舎にも分散してはどうか

答 早い時期に方向性を見出せるよう、検討していく



質問

よしだ みつこ
吉田光子 議員

昨年は大規模な自然災害が様々な形で日本国土を襲ったが、東日本大地震を受け、東海・東南海・南海地震の連動地震による広域大震災の可能性も指摘され、国をはじめ

地方公共団体等には「事前の備え」を協力を推進することが求められている。

こうした中、本町では、災害時の対策本部が本庁舎内に設置され、機能も本庁舎に集中している。

いつ起こるかわからない地震対策に万全を期するため、本庁舎以外に耐震化のできている分庁舎等にも機能を分散しておくべきではないかと考えるが、兼西町長の所信を伺う。



答弁

兼西町長

今後30年以内に、東海地震の発生する確率が87%、東南海地震が70%、南海地震は60%といわれている。

3月11日に東日本を襲った大地震により、こと災害に関して想定外という言葉を使うことが許されなくなつたと感じている。

本町においてはこうした何時起こるとも知れない大震災から、まず、地域の宝である子どもたちを守る

ために、そして将来を担う子どもたちが安心して学習にうちこめるようにとの思いから、小・中学校校舎や体育館の耐震工事に取り組んできた。

ご指摘のようにこういった対策が一段落すれば、災害時に対策本部を設置する建物の耐震化も考えていかねばならないことも現実である。

現在、台風時などに対策本部を設置する場合、本庁舎を利用しているが、耐震において不安な面もある。

しかしながら、震度6を超える大地震にも耐えうる構造となつている分庁舎や本庁舎南側の農業構造改善センターに本部機能を設置させるには、役場全体の機構改革も視野にいれた対応が必要となつてくる。また、現在、本庁舎2階に設置している防災無線の操作機器やコンピュータ・サーバーなども移転する必要がでてくることから、将来的には、防災無線のデジタル化の検討に合わせて、本部機能を移転することも選択肢の一つと考えている。いずれにしても、早い機会に方向

農業構造改善センター



性を見出してまいりたいと考えているので、ご理解ご協力をお願いしたい。

再問

吉田光子 議員

昨年10月に、本町貞光を震源とする地震が発生した。幸い、小さなものであったが、これがもし大地震であつたらと考えるにはいられなかつた。

耐震化のできた分庁舎への設置が、地域住民への安心の担保につながると思うので早期の実現をお願いする。



文教厚生常任委員会



所管する課
教育・福祉・保険・病院等

12月9日開催

委員長 西谷 一廣
副委員長 森長 秀行
委員 石本 貞夫
吉田 光子
尾関 伸也
正副議長 小坂 重夫
伊庭 英俊



委員会での審議

例正 運動公園条例の一部改正

尾関伸也委員

屋外ゲートボール場用地を地権者に返還するということは、借地料についても不用となるのか。

上原生涯教育課長

指摘のとおり今回返還する屋外ゲートボール場用地分については、借地料が不用となる。

小坂重夫議長

今後このような事例が続く見込みか。

上原生涯教育課長

現在、町内にゲートボール場が10箇所(半田5箇所、貞光3箇所、一字2箇所)あるが、少人数ではあってもゲートボール場を利用されているので、すぐに廃止するようなところははない。

正補 出生祝い金

小坂重夫議長

出生祝い金について、昨年度の支払件数と今年度の見込みは。また、本町における祝い金の支給額は。

笠原福祉課長

昨年度の支給対象者は、53名(124万円)であった。今年度は、来年3月末までの見込みを含め、支給対象者が55名である。

本町の出生祝い金支給額は、第1子が1万円、第2子が3万円、第3子が5万円、第4子が10万円、第5子が20万円、第6子が50万円となっている。

正補 義務教育施設災害復旧費

小坂重夫議長

半田中学校及び半田幼稚園のグラウンド護岸災害復旧工事では、グラウンド側への掘削する予定か。また、工事期間中のグラウンド使用は可能か。

市原学校教育課長

半田中学校側では、現在ある東側のグラウンド脇フェンスから最大で内側に約10m切り取る。半田幼稚園側では、南側の遊び場は大半が切り取りとなる。工事期間中は、グラウンドが安全に使用できるよう掘削範囲には、すべて防護柵を設置し、グラウンドの使用を可能とする。

正補 重度心身障害者等医療費

小坂重夫議長

今回の補正予算で、高額療養費の戻入が遅延するとはどういうことか。

吉本保険課長

今回の補正は、当初に高額療養費の戻入を見込んで重度心身障害者等医療費の予算を組んでいるため、年度末の高額療養費戻入が3月分の医療費支払い時期より後になった場合、予算が不足し支払いができなくなることも想定されることから、3月の高額療養費戻入分を立替として追加補正した。

委員会審議

付託された案件6件(条例改正2件・補正予算2件・請負契約1件・専決承認1件)

運動公園条例の一部改正

病院事業管理者の給与に関する条例の一部改正

一般会計補正予算(所管分野)

主な歳入

- 義務教育施設災害復旧費(国庫負担金) 9930万9千円
 - 重度身体障害者医療費助成事業補助金(県負担金) 230万円
 - 障害者自立支援給付費負担金(国・県負担金合計) 1299万4千円
- 主な歳出
- 重度身体障害者医療費 420万円
 - 出生祝金 83万円

病院事業会計補正予算

徳島県災害医療体制整備事業における医療機器購入費 1150万5千円等

町立半田小学校 体育館耐震改修工事請負契約の変更

226万8千円追加
総額 6999万3千円

専決承認(一般会計補正予算)

ハイツ和光修繕料145万5千円等

【専決承認】
ハイツ和光エレベーター修繕

吉田光子委員

ハイツ和光のエレベーター建物の接合部分から雨水が浸透し故障したということだが、エレベーター部分は別に建てたのか。

笠原福祉課長

平成13年度に貞光中学校和光寮を高齢者共同生活施設「ハイツ和光」に改築する際、鉄骨構造の建物を増設してエレベーターを設置した。

今回、台風12号の強風で施設建物が揺れた為、エレベーターの建物との間に亀裂が生じ、雨水が浸透して電機の基盤・バッテリー等が故障した。早急な対応が必要なため、専決補正してエレベーター及び建物接合部分の修繕を行った。



◀右端がエレベーター建物

【病院会計】
医療機器購入方針

小坂重夫議長

半田病院における医療機器の購入方針は、

鎌村病院事務長

医療機器の購入計画は、保有の機器更新を基本としている。耐用年数は5年又は6年とされているが、現状は修理などにより長期使用に つとめている。

【病院会計】
災害医療体制整備事業

小坂重夫議長

災害医療体制整備事業とは。

鎌村病院事務長

この事業は、災害時における医療支援体制の整備を目的として、被災地へ携行できる医療機器を購入するものであり、災害拠点病院に対する補助事業となっている。

この補助事業を活用して今回購入する医療機器については、日常の医療行為にも使用が可能であり、当院にとつて有効的な活用が図れるものである。

【請負契約】
半田小学校体育館耐震改修工事請負契約の変更

吉田光子委員

体育館床の下地を木製のものから

鋼製のものにするとは。

西尾教育次長

当初設計では、床を支える短い柱状の木製下地であったが、将来、床のひずみ等が出ることも考慮し、微調整が可能な鉄製の下地に変更するものである。

産業建設常任委員会



所管する課
建設・農林・商工観光・環境
住宅・水道・地籍等

12月12日開催

委員長 長浦 英彰
副委員長 谷川 真角
委員 佐藤 政正
田村 昭仁
齊藤 嘉文
正副議長 小坂 重夫
伊庭 英俊



決正 田村昭仁委員
災害復旧工事費
今回の申請件数と、国の採択率は、
木下建設課長
申請は、台風6号による被災箇所が3箇所、12号が10箇所、15号が7箇所、合計20箇所、このうち19箇所について国の査定が終わっている。
19箇所についての申請額に対する採択率は91・7%である。



▼台風15号被害
貞光 浦山上ノ原線

▲台風12号被害
半田 惣谷井川線



正補 長浦英彰委員
長橋下流左岸復旧工事

台風で被災した長橋下流左岸の道路復旧工事状況及び復旧後の幅員はどうなるのか。

木下建設課長

長橋上下流併せて約140mを県工事として発注済みである。長橋の上流部は現在の石積護岸にコンクリート根継ぎを施工、下流部はブロック積みの新設となる。道路幅員については、以前より10から20cm程度広くなると聞いている。

評計 佐藤政正委員
農業集落排水事業

農業集落排水事業対象区域に新しく家を建築し、管路がない場合は管路工事を行うという事だが、管路の延長制限等はあるのか。
浦環境課長

現在、農業集落排水の事業対象区域内での延長制限は設けていないが、新設の管路工事を行うかどうかは、費用対効果等を考慮して随時検討していくこととしている。

その他 長浦英彰委員
貞光ゆうゆう館

貞光ゆうゆう館は黒字決算を維持しているが、現状は、収益が順調に伸びている物産部門に、減収が顕著となってきたレストラ部門が依存した形での黒字である。

こうした依存状態が続くと、今後競争激化が予想される物産部門への投資や生産者の育成等も困難となり、両部門が共倒れにならないかと懸念する。

ゆうゆう館には、物産・レストラ部門とも必要であり、両部門の相乗効果を活かせるような経営改善が必要だと思ふ。今後は、町の担当課とも連携し、改善すべき点は改善して、地域の拠点として進展していただきたい。
大森ゆうゆう館長

ご指摘のとおり、平成23年11月末時点の売上高では、レストラ部門が前年より504万円の減収、物産部門が591万円の増収となっており、両方合わせた収益は昨年度より87万9千円の増となっている。

兼西町長

委員長の懸念は十分承知している。現在のレストラ部門は、売上高人件費比率が非常に高く、人件費が収益を圧迫している状態である。今後、町としても民間委託も含め改善策を検討していく。

付託された案件3件(補正予算2件・専決承認1件(補正予算2件))

一般会計補正予算(所管分野)
主な歳入

○急傾斜地崩壊対策事業
補助金(県補助金)

250万円
分担金 100万円

○林道施設災害復旧事業費補助金
(県補助金) 1940万円

主な歳出

○中山間等直接支払交付金

3741万1千円

○林道開設工事費 1051万円

○急傾斜地崩壊対策工事費

500万円

農業集落排水事業特別会計補正予算

主な歳出

○管路工事費

70万円

専決承認(一般会計補正予算)

主な歳入

○公共土木施設災害復旧費

(国庫負担金) 6156万1千円

主な歳出

○災害復旧工事費(町道補助)

9229万6千円

公共下水道会計補正予算

主な歳出

○災害保全工事費

190万円

正算 急傾斜地崩壊対策工事費

田村昭仁委員

今回の補正は個人の宅地か。また、今年度急傾斜地崩壊対策事業として要望している箇所全て施工出来る見込みか。木下建設課長

個人の宅地被災である。今年度の被災分が10箇所、去年までの被災が4箇所の計14箇所を県単急傾斜地崩壊対策事業として要望しているが、全ての施工は難しいかと思われる。

その他 火葬場

谷川真角副委員長

町単独での建設も視野に入れ、早期に新しく建設すべきだと思うが。

兼西町長

建設後40数年が経過し、修理費が嵩んでいる中、利用のほとんどがつかない町民という現状。こうしたことも踏まえて、皆様方の英知を結集しながら、後世・後進のため、また現在のつるぎ町民のためにも建設を前向きに考えたいと思っている。

正算 中山間等直接支払交付金

小坂重夫議長

支払交付金の配分はどのようになっているのか。

平松農林課長

交付金は中山間地域の多目的機能を維持・増進するために交付しており、個人配分と集落配分については、各集落で決定している。

正算 残土処理

谷川真角副委員長

農地パトロールで畑に仮置きとは思えない土が処分されているのを見かけたが、工事の残土は全て町残土処理場で処分するのではないのか。木下建設課長

木下建設課長

県・町工事とも全て町の残土処理場で処分している。設計書に残土処分費として計上し、工事完了後、建設課から納付書を発行し、処理費を納付していただいている。現地を確認し、今後、農業委員会とも相談して指導にあたりたい。

正算 ミマコンポスト炭化炉修理

小坂重夫議長

修理後は、どの位の期間耐用できるのか。

平松農林課長

炭化炉は、平成7年の稼働開始以来これまでに何回か炉の補修を行っており、最近では平成16年に修繕工事を行っており。炭化炉は24時間運転しており、修繕後の耐用年数は、概ね10年と考えている。

総務常任委員会



所管する課 総務・危機管理
企画・地域創造・税務国保
住民・人権・出納等

12月13日開催

委員長 三好 昭義
副委員長 田野一二三
委員 荒井 匡代
小坂 重夫
上家 洋子
伊庭 英俊



改正 職員の給与に 関する条例の 一部改正

小坂重夫委員

今回の改定では、30歳代以下は月例給引き下げの対象とならないのか。

中川総務課長

減額の基準は、給料表の5級37号俸を超える職員となっており、年齢に当てはめると、50歳代を中心に40歳以上が該当する。

その他 地域決定型地方税制特例措置（わがまち特例）

小坂重夫委員

2012年度税制改正大綱では、地方自治体が条例で減額幅や期間を自主的に決められる「わがまち特例」の導入が盛り込まれるということだが、具体的にはどのような内容か。

木下税務国保課長

この特例措置は、一般的に、「特例措置の対象」、「特例期間」、「特例割合」から構成されており、現行では、全国一律化され、地方自治体ごとに独自に措置することは基本的には認められていない。「わがまち特例」では、この「特例期間」及び「特例割合」（特例割合に対しては地方税法で一定の上下限を設ける）を、地方自治体の条例に委任することで、地域の自主性及び自立性を高めるために新たに導入されるものである。来年度は雨水を一時的にためる施設など2件について特例が適用される。

委員会審議



付託された案件4件(補正予算3件・専決承認1件(条例改正1件))

一般会計補正予算(所管分野)
主な歳入

○ がんばる市町村応援事業交付金(県交付金) 100万円

○ 河川美化・緑化事業助成金(河川環境管理財団交付金) 33万円

主な歳出

○ 修繕料(西部老人いこいの家・台風被害) 127万7千円

○ 旅費(東日本復興支援・職員派遣) 43万3千円

国民健康保険(事業勘定)事業特別会計補正予算

主な歳入

○ 療養給付費等負担金(国庫補助金) 200万円

○ 財政調整交付金(国・県補助金) 400万円

主な歳出

○ 介護納付金 1090万円

国民健康保険(施設勘定)事業特別会計補正予算

主な歳出

○ 一般管理費 20万8千円

専決承認

○ 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

正補 株式会社ラ・フォーレつるぎ山

小坂重夫委員

株式会社ラ・フォーレつるぎ山の現在の経営状況と、滞在型宿泊施設ラ・フォーレつるぎ山の営業期間は、

古林地域創造課長

株式会社ラ・フォーレつるぎ山の経営状況は、前年と比較すると約200万円の売り上げ減となっている。その原因は、5月末、7月中旬、9月上旬の台風による団体客の宿泊キャンセルである。

また、滞在型宿泊施設ラ・フォーレつるぎ山の営業期間は、天候に左右されるため、確定はできないが、例年4月中旬から11月末までである。

正補 第三セクター運営見直しは

小坂重夫委員

ラ・フォーレつるぎ山を第三セクターとして運営していくことを見直すことは、検討していないのか。

古林地域創造課長

滞在型宿泊施設ラ・フォーレつるぎ山は、つるぎ町という名前が剣山に、ちなみに、付けられたということもあり、町民の関心や結びつきの深さからも戦略的な観光施設として必要である。

また、つるぎの宿、岩戸については、地域のコミュニティーセンターとしての意味合いも強く単に経営施設としてひとくくりにはできないと思う。

以上の設立目的を勘案しながら、経営的にも効率を求めらるなら、町の直営や完全民営化よりも経営方針の継続性がある第三セクターでの運営が適切であると考えている。

正補 がんばる市町村
応援事業

小坂重夫委員

がんばる市町村応援事業交付金の交付対象事業及び交付限度額は、

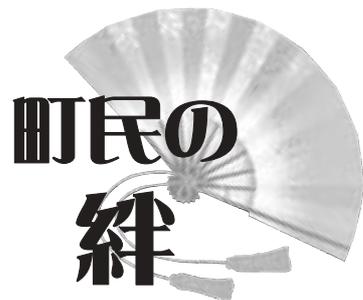
西岡半田支所長

住民や民間団体が主体的に行う、地域の活性化への取組や、町が行う地域づくりを支える人材育成など、地域の個性を活かした元気な地域づくりのためのソフト事業に対して交付されるもので、交付限度額は事業費ベースで400万円である。今回、そうめん祭り事業関連の経費に充当させていた。だ。



ラ・フォーレつるぎ山

議会インタビュー

西谷広行さん(77歳)
町子さん(80歳)インタビュー
石本貞夫 議員

一字字赤松

一字の干し柿の中でも赤松地区の柿は特に美味しいといわれています。この赤松地区で代々干し柿を作っておられる西谷さんご夫婦にインタビューしました。

石本議員 「赤松柿」の由来は。

西谷広行さん 明治時代に四国のコンクールで一字の赤松地区の柿が入賞したと聞いています。以来、その木が接ぎ木されたりして受け継がれ、一字大和柿の中でも特にこの赤松地区の柿が美味しいと「赤松柿」と呼んで、好んで購入される方もいます。

石本議員 その入賞した柿の木が今も残っているのですか。

西谷町子さん 自宅の木は大木になつて残っており、今も実がなつています。

石本議員 昔はずいぶん沢山の干し柿を作っておられたらしいですが、今は柿の手入れは息子さん達がされているのですか。

西谷町子さん 私達夫婦は体の調子が良くないですし、息子が人を雇つて干し柿を作っていますが、勤めているので、昔のように3万〜4万個もは作れなくなりましたね。

石本議員 昔は天日干しをしていたので干し柿のカーテンがあちこちに見られたものでしたが、今は乾燥機を使つて柿を乾燥させるところが増えてきましたね。

西谷広行さん 自然乾燥が美味しいのですが、干すときの天候具合で柿にカビが生えて売れなくなったりし



西谷広行さん(右後)
石本議員(左後)西谷町子さん(前)
12月20日西谷さん宅

ます。乾燥機だとそういう心配がないですが、うちは代々自然乾燥で干し柿を作っていますので、過去に2度、商品にならず何万個も捨てた経験があります。

石本議員 今まで苦労して続けてこられたこの赤松地区の干し柿を、今後とも絶やすことなく継承していただきたいと思います。

新居幸子さん(80歳)

インタビュー
半田字猿飼
尾関伸也 議員

急な下り坂も電動スクーターを器用に操作してスイスイと走行される、身軽くてとてもお元気な新居幸子さんにインタビューしました。

尾関議員 昨年亡くなったご主人は、地域のいろんなお世話をされていますね。

新居幸子さん 共聴組合の設立や地域各戸への電話の設置、道の開設なども苦労しながら一生懸命段取りをしていました。今はもう苦労することもなくなりましたが。

尾関議員 特にどのような苦労があったのですか。

新居幸子さん このあたり一帯に道路を開設してもらった時が一番大変

でした。開設に至るまで、主人は役場へ何度も足を運び、自宅で集会を十数回も開いて地域の方達と話し合いました。

尾関議員 いつ頃のことですか。

新居幸子さん 主人が42歳の時、今から40年ほど前のことです。

尾関議員 その頃は貴重な畑に道路を開設するのは苦渋の判断がいったのではないですか。

新居幸子さん 自宅の広い畑の真ん中に道路を開設することになったのですが、子育ての時期に畑を道路にすることをよく言わない人もいました。でも主人は、道路はどうしても必要だと言つて実行しました。

尾関議員 今は道路が開設していることを当たり前のように思っているところがありますが、開設までの道の



新居幸子さん 尾関議員
12月20日 新居さん宅

りは大変だったんですね。

新居幸子さん 主人も苦勞しましたが、「あのとき気長に道路を開設する話を進めてくれたお陰で今ここで暮らしている」と言ってくれたさる方もいます。

尾関議員 共聴組合を設立するまでもご苦勞があったことと思います。

新居幸子さん そうですね。共聴組合の設立には、3年かかりましたね。

尾関議員 現在は共聴を利用してテレビを視聴されているのですか。

新居幸子さん 共聴組合は解散しましたので、フレッツテレビを利用しています。多くのチャンネルが視聴できるのは大変うれしいです。

尾関議員 テレビも娯楽の一つとし



▲12月20日 猿飼地区の集会所で地域の方々と

て欠かせないものですよ。ほかにも楽しみにされているのは何ですか。

新居幸子さん 猿飼の集会所で地域の方と集まって楽しく会話することでしょうか。前は皆で踊ったりカラオケしたりしましたが、今は高齢化して会話する程度です。

尾関議員 地域の人たちと集まって会話することは健康のためにもいいですね。これからお元気で、地域の皆さんとの会話を楽しんで下さい。

秦喜代子さん(90歳)

インタビューアー

荒井匡代議員

貞光字町

「初めてお会いする方は、私が90歳だと言っても誰も信じてくださらないですよ」と、ご本人が言われるとおり本当に若々しい秦さんに、若さの秘訣をインタビューしました。

荒井議員 若さの秘訣はなんですか。

秦喜代子さん 私はとにかくのん気なんです。何にもしないと決めたら散らかついても気にせずゆつくりします。それと自分のすることだけして、人のお節介はしないことですね。

荒井議員 なるほど。それにいつも前向きで人前に出ることを嫌がらない。カラオケもされるし、若いときは

ダンスも習ってられましたよね。

秦喜代子さん 今でも、相手がいれば踊りたいですね(笑)。

荒井議員 それにおしゃれですよ。洋服も素敵ですし、いつ見てもきれいに化粧されている。

秦喜代子さん 素顔では気恥ずかしいです。毎朝起きたら顔を洗って化粧します。風呂上りには、すぐにつけられるように乳液を用意しておき、必ずつけます。洋服も持っていないようなものを見つけるとすぐ欲しくなるので困っています(笑)。

荒井議員 いつまでもおしゃれする気持ちをお忘れなことが大事なのですね。それに、お孫さんの世話も若さの秘訣だと思えますよ。

秦喜代子さん そうですか。孫が「僕は外食よりばあちゃんの弁当のほうが美味しい」というので、朝4時に起きて孫の弁当を作っています。

荒井議員 毎日、今日は献立何にしようかと考えるのもいい刺激になるのだと思いますよ。

秦喜代子さん やっぱいろいろなところへ積極的に出かけて、若い人と話をするのが一番ですね。どこへ出かけても私より歳が上の人は滅多にいませんが(笑)。

荒井議員 秦さんは一宇地区のご出身だと伺いましたが。

秦喜代子さん 私の実家は旧一宇



秦喜代子さん 荒井議員 1月12日 松尾神社

村で旅館業を営んでいました。そのころは労働者の方が沢山一宇に来られていて繁盛していました。一時は芸者さん2人、仲居さん5人雇っていたこともありました。母が本業そっちのけで好きな畑仕事をしたので、10代の頃から私が仕入れをやりました。

荒井議員 若い頃から良く働いておられたんですね。秦さんのお元気な様子に、私はいつも励まされています。これからお元気でもっと長生きしてしてください。



議会の動き

- 11月 8日 美馬環境整備組合臨時会
10日 第52回四国地区町村議会
議長会
16日～18日 第55回町村議会議長全国
大会
28日 議会運営委員会
- 12月 7日 第4回定例会開会本会議
9日 文教厚生常任委員会
12日 産業建設常任委員会
13日 総務常任委員会
16日 再開本会議
- 1月 10日 議会広報委員会

議員研修



第52回四国地区町村議会議長会研修会が、平成23年11月10日鳴門市文化会館で開催され、つるぎ町議会議員15名が参加いたしました。

研修会では、四国地区町村議会議長会表彰のほか、次のとおり講演が行われました。

【講演1】「これからの防災・危機管理～自然災害に町村はどう対応すべきか」

防災・危機管理アドバイザー 防災システム研究所所長 山村武彦氏

【講演2】「天災と人災への心がまえ」

作家 瀬戸内寂聴氏

～地域のみなさん～



つるぎの 写真館



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

2011年は、皇室では悠仁さまが5歳になり健やかな成長を願う着袴(ちやっこ)の儀と深曾木(ふかさぞぎ)の儀が行われ、スポーツでは、なでしこジャパンのサッカーチームが女子ワールドカップで優勝など、うれしい出来事がありました。しかしその反面、東日本大震災などの災害に見舞われ、大変な1年でした。

2012年は、災害のない穏やかな年でありますように、心より祈念致します。

議会広報も2007年の創刊から、今年で21号となりました。わかりやすく愛される紙面づくりには議会広報委員一丸となって取り組みますので、本年もよろしく願います。

発行責任者

議長 小坂 重夫
副議長 伊庭 英俊
議会広報編集常任委員会
委員長 吉田 光子
副委員長 森長 秀行

委員 長浦 英彰
委員 三好 昭義
委員 佐藤 政正
委員 西谷 一廣